

「グローバル化と法」分科会議事要旨（令和7年度第4回（第26期・第5回））

・開催日時：令和8年（2026）年3月3日（火）10時～11時40分

・出席者：（定足数を満たし成立）川嶋四郎、浅田正彦、浅野有紀、安部圭介、江島晶子、片山直也、河野真理子、糊澤能生、笹倉香奈、佐藤義明、高橋均、瀧川裕英、竹村仁美、中谷和弘、濱真一郎、早川眞一郎、林秀弥、林貴美、平山幹子、横溝大、高山佳奈子（21名）

・議事概要

1. 日本学術会議会員予定者の候補者の意思確認について

川嶋委員から、日本学術会議会員予定者の候補者の就任の意思確認の趣旨の説明がなされた。

2. 第27期に向けての「グローバル化と法」分科会の活動課題について

（1）河野委員長から2026年1月28日付の「日本学術会議『グローバル化と法』分科会活動課題（第27期に向けて）」の概要の説明がなされた。各委員から意見が出された。

（2）河野委員長から、総論と各論を区別した記述とし、今回提示した案の内容は原則として各論で記述することとしたい旨の説明があった。また、第26期の取りまとめとして本文書を記録に残すが、第27期の方針を何ら拘束するものではないことが確認された。

（3）第26期の今後の活動

河野委員長から今後の日程について提案があり、了承された。

3. その他

川嶋委員から、第27期の会員の推薦について説明がなされた。

以上